



ブロックチェーン技術を現実の世界へ

Phoreの特徴



高速な送金/ブロック時間1分



匿名/非匿名切り替え可能な送金



ステーク/マスターノードによる報酬



手数料無料なマーケットプレイス



匿名性を保つスマートコントラクト（Q4予定）

Phore Blockchain のビジョン



“現実で使うことのできる通貨を目指す”

が最大の目標です。

マーケットプレイスを導入して、PHRを用いて商品を売買できるようにしました。

クラウドファンディングを統合して、Phore をより使い道の豊富な通貨にしていくというのが、私たちの考えです。

ステーキング



Phoreでは、所有するコインでマイニングできます(PoS)。

このマイニングは、ブロックチェーンの耐性を高め、送金を安全に保つものです。

常にウォレットを実行していなければステークが出来ませんので、ご注意下さい。

マスターノード



Phore のマスターノードは10000PHRを保持し、次の条件を満たすサーバーで設置することが出来ます。

- ・ 静的なIPアドレスを持つ
- ・ 10000PHRを担保として保管
- ・ 24時間稼働するサーバーを持つ

マスターノードにより、ブロックチェーンに匿名性や後にスマートコントラクト機能を導入することが出来ます。

スクリプトにより、だれでも簡単にマスターノードを立てることが可能です。

Zerocoin プロトコル

Zerocoinプロトコルとは、匿名性技術の一つです。

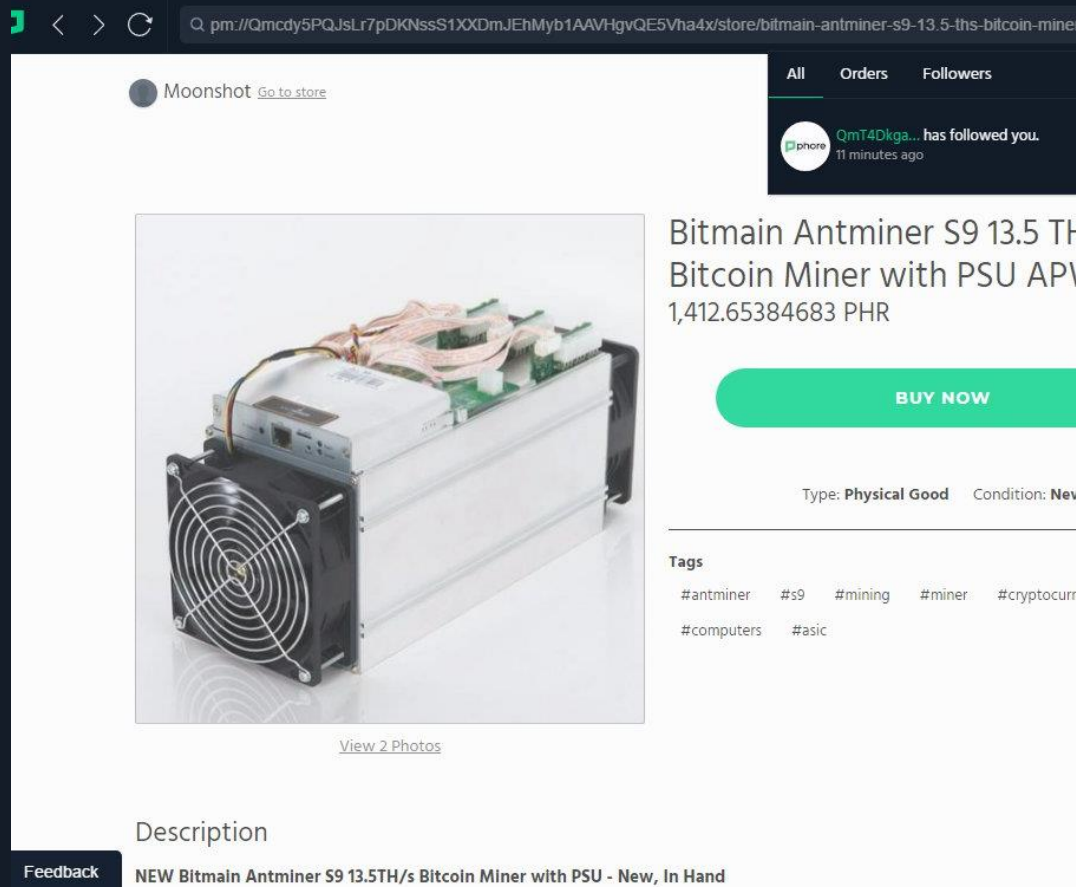
マスターノードに送金し、混ぜることによって送金元や送金額までもを匿名化できます。

この匿名性はPhoreのエコシステムの各要素でも利用可能になっています。

例

- ・ マーケットプレイスで匿名送金で支払う
- ・ 匿名送金で支払ってスマートコントラクトを利用する

マーケットプレイス



<http://phore.io/marketplace/> からアプリをダウンロード、実行しなければいけません。

メリット

- ・手数料が無料
- ・出品手続きが簡単
- ・匿名送金を利用できる

デメリット

- ・運営が仲裁を行いますが、出品者の評価をよく確認しなければならない

スマートコントラクト



現在のブロックチェーンとは別のチェーンとして、スマートコントラクトが利用できるチェーンを作成します。

その二つのチェーンを相互に行き来できるように、マスターノードにPHRを送金したときにもう一つのチェーンで同額のPHRがアンロックされる仕組みにすることで、二つのチェーンを行き来し、(RSK)スマートコントラクトを実装することが出来ます。

匿名性を残したままスマートコントラクトが実装できるので、プライベートスマートコントラクトと呼びます。